

# 株式会社マイスティア

所在地：益城町 創業：1990年 資本金：5,000千円  
従業員数：1,750名（グループ） 事業概要：一般製造業

（株）マイスティアでは、水産と工業の連携による「次世代水産養殖システム協創」の取組みを進めており、天草市に次世代水産養殖システム協創ラボhav（ハーヴ）を開設し、次世代水産養殖システムを開発。熊本県海水養殖漁協、熊本高等専門学校と連携し、IoT/AIを駆使した次世代の水産業を担う人材育成にも取り組んでいる。

## 取組み前の課題

1. 県内定着
2. 人材育成
3. 生産性向上
4. 働きやすい職場環境
5. その他

### 養殖業の大きい労務負担と人手不足

・クルマエビ養殖や魚類養殖は、養殖管理技術の習得に多くの経験が求められることや、海上作業等の労務負担が大きいことから、慢性的な人手不足となっている。

## 取組み後の成果（効果）

### 養殖業のスマート化

- ・伝統的な環境や手法とは一線を画した既成概念にとらわれない「次世代水産養殖システム」の開発を継続中。
- ・クルマエビ養殖や魚類養殖において、スマート生産システムを開発、導入し、効率化や省力化により、労務負担を軽減。

### 包括連携協定の締結

・令和6年7月、（株）マイスティア、熊本高等専門学校、熊本県海水養殖漁協は、熊本県を立会人とし、包括連携協定を締結。

・今後、養殖業振興の最大の課題である赤潮対策に関する研究開発に努め、IoT/AIを駆使した次世代の水産業を担う人材の育成と確保を図り、養殖業を核とした地方創生を推進。



## 取組み内容・事業・導入したこと

### 次世代養殖システムの開発

- ・平成29年（2017年）から、深川水産と養殖業のスマート化の取組みを開始。のちに熊本県海水養殖漁協とも連携。
- ・令和元年（2019年）4月、天草市に次世代水産養殖システム協創ラボhav（ハーヴ）を開設。地域密着型で養殖業の見える化、省力化、効率化への取組みを開始。
- ・これまでに、クルマエビの伝統的な養殖方法をスマート技術を活用し、見える化と省力化を実現。
- ・また、養殖マダイ等の自動給餌機をスマート化し、自動給餌機内の餌残量、稼働状況をリアルタイムに把握すると共に遠隔制御することで省力化を実現。

### 熊本高等専門学校との連携

・熊本高等専門学校の学生とともに、天草の現場でスマート生産システム（特にAI）の開発、実証の取組みを実施。

